



前沢区／小野寺 尚 さん



アセネカの言葉

アメリカインディアンの大酋長アセネカはかつて「この大地は祖先から譲り受けたものではなく、子孫から借りている。」といました。私はこの言葉が大好きです。

ご先祖様や先輩方が苦勞され築いた社会の蓄積を消費するだけでなく、さらに価値を付加してより豊かな世の中にし、子供や後輩達につなげていくという考えです。

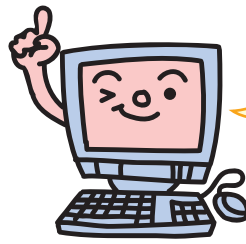
この考えさえみんなですべて

いれば、食糧問題、エネルギー問題、特に環境問題など負の資産を後世に残すことなく次代につなげることができると思っています。

そして、そのために私たちがどんな行動をしているか試されています。

奥州市議会には次代の奥州市をカタどっていただきながら笑顔の市民が増えるようなまちづくりを期待しております。そして、我々市民も人頼みではなく自ら行動しやすい気楽で誇れる奥州市にして引き渡していきたいものだなと思っています。

アドレスは

<http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/gikai/>

詳しい内容については、ホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。

議会開会中は、どなたでも議会の傍聴することができます。
6月定例会の傍聴者数 計31人（延べ人数）

私も
ひとこと

江刺区／後藤 洋子 さん



議会傍聴初体験

議会がどんな所かも良く知らない私が、昨年の12月議会を傍聴することになりました。何も知らないという事は、変な度胸がつくようで、恐い物知らずの私は、意気揚々と家を出ました。市役所のエレベーターが上がるにつれ、ドキドキ、受付で震える字で記名をし、着ていたコートを脱ぐよう指示されたときには、いい知れぬ不安にかられ、議会場のドアを開けた瞬間、体が固まってしまいう程の緊張感が走りまわりました。

壇上の市長をはじめ、議長

を真ん中に各担当職員の方々がこちら向きに座っていらつしやる、その視線が突きささりそう（ゴメンナサイ）急いで座り、うす暗い傍聴席を見渡すと、わずかに3名の男性の方々（良かった！）、ほっとしたのもつかの間、すぐ帰られてしまい、一人になった私は最初の元気もすっかり無くなり、後悔さえ覚えました。

全て私達の生活に反映され、そして影響されると思うと、いつしか私も真剣に聞き入っていました。誰でも傍聴できる事は、知っていました。が、ちょっとしたきっかけで、議会を見ることができた私は、初めてづくしの体験をさせて頂きました。次の機会には一人ではなく（絶対！）何人かグループで行きたいと思っています。課題が数多くある事も解りました。次々と生まれる課題も多く、又、今回の地震による大きな被害の復旧も急がれる中、最優先にすべき事は何かをよく見極め、考え取り組んで頂きたいと思っています。

議会広報編集委員会



編集委員

委員長 長委員 委員 副委員	遠今千菅中佐	藤野葉原澤藤	裕正 俊修	敏文文明明孝	秀正明	西宅 辺	中三 渡	俊克美
-------------------------	--------	--------	-------	--------	-----	------	------	-----

あとがき

新生奥州市が、今大きな困難に襲われています。

平泉世界遺産登録の延期勧告、そして岩手・宮城内陸地震の甚大な被害です。それぞれができることを考えながら、市民総力をあげて立ち向かっていかなければならない時だと思っています。地震被災者の皆様が、早期に普段の生活に戻られることを祈るものです。

任期が2年という当初からの申し合わせにより、広報編集委員会が生まれ変わりました。執行部と時に闘い、時に力を合わせる議会の様子を伝えてまいります。

（遠藤 敏）